



# 営農NEWS



## イチゴのハダニ類、うどんこ病、灰色かび病などの発生に注意しましょう

病害虫発生予報 1 月号（病害虫防除所）によりますと、12 月中旬現在、ハダニ類の被害葉率は平年よりやや高く、発生地点率は平年並の状況で、向こう 1 カ月におけるハダニ類の発生量は平年よりやや多いと予想しています。また、今後は、うどんこ病や灰色かび病の発生しやすい圃場環境となり、さらに十分な注意が必要となります。このため、各種病害虫の早期発見に留意し、事前の予防や発生初期の防除徹底に努めてください。

### ＜ハダニ類、うどんこ病、灰色かび病 防除のポイント＞

- 1) 発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、果蕾などを丁寧に観察してください。
- 2) 発生を確認したら、早期に薬剤防除を実施します。葉裏や下葉にもよくかかるよう、株全体に丁寧に散布します。
- 3) 既に多発生した場合には、発生葉や葉柄、果梗、果実等の病部を摘み取ってから、薬剤散布を行います。
- 4) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、気門封鎖剤を除く同一分類（コード）の連続散布は避けてください。
- 5) ミツバチや天敵を放飼の場合は、薬剤の影響等について、メーカーや関係機関等から必ず指導を受けてください。

表 1 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤（平成 30 年 1 月 11 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
コロマイト水和剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	6
カネマイトフロアブル	1,000~1,500 倍	収穫前日まで / 1 回	○	20B
スターマイトフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	25A
マイトコーネフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	20D
サンヨール	500 倍	収穫前日まで / 6 回以内	○	—
粘着くん液剤（デンブン）	100 倍	収穫前日まで / —	1 日	—
エコピタ液剤（還元澱粉糖化物）	100 倍	収穫前日まで / —	—	—

注 1) 気門封鎖剤（粘着くん、エコピタなど）利用の注意点：①薬剤により、マルチ汚れや果実薬害を生じることがあるため、各薬剤の特性をよく確認する。②ハダニ類に直接かからないと効果がないため、株全体に丁寧に散布する。③ハダニ類成虫には有効だが、卵には十分な効果がないので、残った卵からふ化した成虫を防除するためには、5~7 日間隔で数回散布する。

表 2 イチゴ うどんこ病の主な防除薬剤（平成 30 年 1 月 11 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
アフエットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日	7
ガッテン乳剤	5,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	○	U13
トリフミン水和剤	3,000~5,000 倍	収穫前日まで / 5 回以内	1 日	3
パンチョ T F 顆粒水和剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	○	U6 と 3
フルピカフロアブル	2,000~3,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日	9
サンヨール	500~1,000 倍	収穫前日まで / 6 回以内	○	M1
ジーファイン水和剤	750~1,000 倍	収穫前日まで / —	○	NC と M1

※その他、被覆後には硫黄粒剤のくん煙処理が可能ですが、その際は専用の電機加熱式くん煙器を利用してください。

表 3 イチゴ 灰色かび病の主な防除薬剤（平成 30 年 1 月 11 日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000~3,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日	11
フルピカフロアブル	2,000~3,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日	9
セイビアーフロアブル 20	1,000~1,500 倍	収穫前日まで / 3 回以内	○	12
ピクシオ DF	2,000 倍	収穫前日まで / 4 回以内	1 日	17
サンヨール	500 倍	収穫前日まで / 6 回以内	○	M1

注 1) 表 1、2、3 のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針（平成 28 年版）より抜粋しました。○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件（温度、換気等）により日数が前後することがあり注意が必要です。なお、—は指針に記載なしです。

注 2) 表 1、2、3 の分類欄には、FRAC または IRAC コードを記載しました（コードが 2 つは、混合剤です）。同一分類（コード）は作用点が高じなので、連用は避けてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA 全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040